

今月の

## 市長コラム

### 二十歳を迎える皆さんへ

こんにちは。市長の藤本悦志です。  
今年度二十歳を迎える皆さん、誠におめでとうございます。人生の大きな節目を迎えたことに心からお祝いを申し上げます。

皆さん、これまでの成長の過程でさまざまな出来事に直面し、多くの学びや経験を積み重ねてこられたことでしょう。これからは、一人の大人として自ら考え、選択し、行動していく場面が増えしていくことになります。その一つ一つの積み重ねが、皆さん自身の未来を形づくる大切な礎となります。

進学や就職などをきっかけに市外へ出られた方も多いと思いますが、ここで育った記憶や人のつながりは人生の節目に背中を押してくれる存在になるはずです。

安芸高田市は、皆さんがそれぞれの道に挑戦

し、必要なときにはいつでも立ち戻ることのできる「心のふるさと」であり続けたいと考えています。

価値観や働き方、暮らし方などが大きく変化する時代を迎えていますが、そのような中にあってこそ自分とは異なる考え方や立場に耳を傾け対話を重ねていく姿勢がこれまで以上に求められています。

一人では解決が難しい課題であっても、互いを尊重し合いながら知恵を出し合うことで新たな道が見えてきます。皆さん一人一人の行動や選択の積み重ねが、地域や社会の未来を少しずつ支え次の世代へつながっていくことを期待しています。

皆さんの前途が希望に満ちたものとなることを願い、今後のさらなるご活躍を心から応援いたします。

## 一人一人に寄り添う これからの 地域拠点のかたち

これからも安心して暮らし続けられる地域であるために、支所や文化センターの役割をあらためて見つめ直す時期を迎えています。取り残される人のいないよう、一人一人を大切にした体制づくりを目指します。



### 支所・文化センター組織見直しのポイント

#### 強化

人口減少や高齢化を見据え、地域の声を丁寧にくみ取り、地域団体の活動を支える体制を強化します。

2026年4月～

#### 地域に寄り添う 拠点づくり

#### 各町に集落支援員を配置

住民の皆さんにとって「拠りどころ」「寄りどころ」と感じられる地域拠点を目指します。



集落支援員(八千代町)  
吉村 美樹さん

地域行事や女性消防団の活動に参加し、地域のつながりの大切さを実感。町内4つの地域振興会や行政と連携し、住民の声に寄り添いながら課題解決に取り組んでいます。世代を超えてつながることができる町にしていきたいです。

集落支援員を  
募集しています  
応募はこちら



#### 効率化

行政事務の窓口業務を整理・見直すことで、新たな取り組みに人員や時間を充てられる体制をつくります。

2026年10月～

#### 身近な場所で 行政書類の発行を

#### 窓口業務を 郵便局へ委託

現在各支所で行っている窓口業務  
・行政事務(証明書発行など)  
・行政手続きなどの申請書類受付

#### 市内郵便局に委託 (市内15か所)

2025年10月から実証事業をしており、2026年10月から委託業務の範囲を拡大していきます。

#### 段階的に統合

一度に大きく変えるのではなく、状況を確認しつつ少しずつ進めます。

2028年4月～

#### 気軽に相談できる 文化センターに

#### 文化センターを核として 業務を統合

【現在各施設が担っている業務】

#### 支所業務

- 困り事などの相談対応
- 相談事案の共有
- 地域振興会その他の地域団体の活動支援
- 災害時の支所対応職員の統括

#### 文化センター業務

- 文化センター施設の利用受付
- 文化センター施設の管理
- 社会教育事業の運営

#### 図書館業務

- 図書の貸し出し、レファレンス業務
- 文化センター施設の管理

#### 文化センターに統合

支所・文化センター・図書館職員を文化センターに集約(支所長・集落支援員も配置)。

皆さんの声を聴く対話集会を開催する予定です。  
詳細は決まり次第お知らせします。

## 安芸高田市公共交通再編 再編時期を延期します

広報「あきたかた」2025年11月号で公共交通再編についてお知らせしましたが、乗り継ぎ負担への対応策(お太助ワゴン直通便の導入など)の検討を行うため、再編開始時期を見直します。

#### 再編開始時期

当初予定

2026年4月1日(水)



変更後予定

2026年10月1日(木)

#### Q&A

Q. 文化センター統合後の災害時の体制は?

A. 現状と同様に、各支所20人体制を維持します。

Q. ニュースで支所を廃止するようなことを聞いて、不安になりました。

A. 支所を廃止するわけではありません。文化センターに集約し、地域の「拠りどころ」「寄りどころ」としての機能を強化します。

問政策企画課 地方創生推進係 ☎お太助フォン 42-5612



※9月末までは運行内容の変更はありません。

問政策企画課 企画調整係 ☎お太助フォン 42-5612